

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校

TEL 83-2011

文責 校長 竹花 和人

**計画は5%、実行が95%
～カルロス・ゴーンに学ぶ～**

校長 竹花 和人

※7月7日(火) 全校朝会での講話より

皆さんに今日紹介する言葉は、「計画は5%、実行が95%」というものです。これは、カルロス・ゴーンという人の言葉です。カルロス・ゴーンはフランスのタイヤメーカーであるミシュラン社に勤務しているときに、フランスの自動車会社であるルノーという会社からスカウトされ、上席副社長となりました。さらに、日本の自動車会社の日産が経営が悪化したためにルノーと資本提携をしたことで、日産の社長となり見事に立て直した人です。

さて、カルロス・ゴーンという言葉である「計画は5%、実行が95%」とは、どのような意味でしょうか。例えば、期末テストの計画を立てるとき、つついやりたいことや、やらなければならないことを盛り込みすぎて、消化できないで終わってしまったということはあるませんか。また、計画にもとづいて勉強しようとしたものの、結局予定していたプリントなどが終わらず、やり残したままでテストになってしまったということもありますか。このように、計画を作成することは必要ですが、その計画に従って勉強をしていくこと、さらには、表面的に勉強するのではなく、内容をきちんと理解し、自分の力で確実に問題を解けるようにしていくことのほうが、もっと大切なことです。このようなことをカルロス・ゴーンは述べているのだと思います。

計画よりも実行が大切なのは、おそらく誰でも理解できると思います。それでは、計画どおりに実行する、あるいは、計画をもとに成果を上げるように実行するには、何が大切だと思いますか。私は、目標をしっかりと持っていることだと思います。つまり、「100点を取りたい」「希望する高校に入学したい」など、目標をしっかりともち、それを常に意識し続けることが、計画を実行し続けることにつながると思います。実は、日本人は昔から目標をもつことの大切さを意識していました。今日(7月7日)は七夕ですが、この日には短冊に願い事を書いて掲げる風習がありますし、正月には書初めも行いますが、これらは目標をもつことの大切さを伝える日本の良き伝統です。

あと2週間で、夏休みが始まります。どの学年でも、夏休み中の計画を作成すると思います。その際には、3年生は、まず卒業後の進路を考え、その実現のためには何を頑張るかを考えて計画を作成し、実行することです。1, 2年生は、勉強と部活動、さらには生活面での課題を自覚し、その課題を解決するための計画を作成し、実行することです。もしかしたら、これまでの夏休みはせっかく立てた計画を実行できないままに終了していた人もいられるかもしれません。今年は、そうさせたくないで、夏休み前に、先生方と生徒の二者面談、そしてこれまでは3年生だけだった三者面談を全学年で実施するように先生方をお願いしています。この面談で、自分の目標と計画をしっかりと自覚し、計画を実行できるような人になってほしいと思います。

計画は5%、実行が95%

「食に関する指導」を行いました

7月6日（月）の4校時、南郷地区給食センターの宮内郁江 栄養教諭を講師として、1年生を対象とした「食に関する指導」を行いました。「食べ方ピラミッド」をつくる活動を通して、栄養やエネルギーのバランスを考えて食事をとることが大切であることに気付かせることをねらいとした授業でした。この日は、八戸市教育委員会の伊藤博章 教育長も来校しており、短い時間でしたがこの授業を参観されました。教育長からは、「子供たちはとても落ち着いて授業を受けているし、表情も真剣である」とのお褒めの言葉をいただきました。また、授業自体も、ほぼねらいを達成できたと聞いています。



学校教育では、「健やかな体」を育むことも大切な柱の一つです。これからも家庭科の授業を中心に、給食指導などと関連させながら「食に関する指導」に取り組んでいきたいと思えます。御家庭でも、バランスのとれた食事について話題にしていいただければ幸いです。

「食に関する指導」の感想

ぼくは、朝パンを食べているのですが、たまにジャムをつけて食べているので、今日の授業で学んだように、ジャムはピラミッドの一番上、糖分が含まれているので、控えつつ、使うときは少量を使いたいです。（織田 零央）

やっぱりご飯は食べなければいけないもの、砂糖などはあまりとっていないのでよかったです。野菜がほとんどとれていました。自分では緑だと思っていたところが赤だったので、まだまだ知らないことがたくさんありました。今回の給食では、油などはあまり使わず、健康的な料理を作ってくださっていることを知りました。（住澤 祐人）

私は、よく家で肉や魚などを中心にとり、エネルギーのもとのご飯をあまり食べませんでした。なので、ご飯をよく食べていきたいです。それと、植物性のものを多く食べることをしていなかったのも、もっと植物性のものを食べ、動物性食品を少なめに食べていこうと思いました。（大倉 愛理）

私は、ご飯を食べるときは、あまりバランスに気を付けて食べるのが少なかったです。でも今回の勉強で病気になりそうな体を予防することができるということがわかりました。また、私たちが持ってくるお弁当も5対5の割合で入れるのがよいということもわかりました。（林 千秋）

賞状伝達を行いました

7月7日（火）の全校朝会で、これまで生徒がいただいた賞状の伝達を行いました。生徒たちは、スポーツや文化など、様々なところで頑張っています。以下に紹介します。

○第11回「俳句のまち八戸」学生俳句大会

「はまなすが赤い身ゆらす波のよう」 佳作 石村 康大

○八戸市歯科医師会 よい歯と口の健康賞（虫歯なし、歯肉炎なし）

1年：織田 零央 2年：畑内 愛佳、川畑 暁史

3年：織田 浩次、門口 航、金谷 真吾、柳沢 啓斗

○第66回八戸市中学校体育大会夏季大会陸上競技

1年100m 第3位 林 千秋 3年100m 第8位 北山 萌々香